

加瀬みきの ワシントン発 グローバル随想



イラスト・題字：長峯亜里

第27回

イーロン・マスク： 力の源泉と脅威

トランプ政権が始動してわずか数カ月だが、これまでのアメリカからは想像を絶する事態が続き、アメリカ人ばかりか世界中がノイローゼになりそうである。その中心にいるのはもちろんトランプ大統領本人であるが、イーロン・マスク氏も負けず劣らず秩序をかく乱させている。

マスク氏は選挙で選ばれたわけでも、議会で承認されたわけでもない。しかし腐敗や無駄を一掃するという政府効率化の名の下に国際開発局(USAID)からエネルギー省、連邦航空局、さらに国防総省など多数の政府機関職員の解雇を進め、政府機能に支障が出ている。さらには財務省や内国歳入庁(IRS)の情報へのアクセスを求めており、それがかなえば全てのアメリカ人はもとよりアメリカで収入がある外国人の個人情報が入ることに。

トランプ氏再選に不可欠な存在

権力の亡者でナルシストのトランプ大統領がなぜマスク氏にこれほどの権限を与えているのだろう。確かにマスク氏の支援なくしてトランプ氏は大統領に返り咲けなかった可能性は高い。大統領選挙へ2.88億ドル(約430億円)の寄付をただけでない。X買収後のマスク氏のツイートは、それ以前の週50回から220回に跳ね上がり、不法移民やWoke(黒人やLGBTQ

などマイノリティの権利を積極的に推奨する)への恐怖心をあおるなど、トランプ氏の主張を支持する内容が大幅に増えた。マスク氏のフォロワーは2億人とされ、メッセージの数や拡散の度合いからも影響力は絶大であった。

また人気ポッドキャスター、ジョー・ローガンの番組に出演し、マノスフィアと称される格闘技やオンラインゲーミングでつながる主に白人男性社会に食い込み、トランプ氏を応援する意義を訴えた。マノスフィアの人々は通常政治に興味を持たずほとんど投票もしないが、今回の大統領選挙で白人のトランプ票が増えたのはこうしたマスク氏の貢献があったためだろう。

マスク氏の力の源泉

マスク氏は世界一の資産家であるばかりか、X、スターリンク、スペースX、テスラの所有者として情報伝達、市民生活、自動車から宇宙、軍事産業と最先端技術を操る存在となっている。スターリンクなしにはウクライナは戦争を継続できなかったであろう。米軍のスターリンクへの、NASAのスペースXへの依存度が高まり過ぎていることが懸念されるほどである。

マスク氏は「ペイパル・マフィア」の一員としても知られる。ペイパルは200の国・地域で約3億人が利用するオンライン決済サービスで、